

第一 部

SUNSHINE (2・3年)

arr.by 唯 敷 和 彦

おなじみスティービーワンダー「トーキングブック」からの大ヒット曲を、SINGOUT 風にアレンジしてみました。その明るいふんい気を感じてください。

Ferguson Road (2年)

arr.by 高 山 茂 樹

キャロル・キングの4枚目「Rhymes & Reasons」からです。最近の女性はとっても強くて、失恋をしても平気平気と強がるのです。そんな女性の気持ちを私たちは爽やかに表現したいと思います。

Rockin' Roll Baby (2年)

arr.by 青 木 純 一 郎

フィラデルフィアサウンドの大プロデューサーであるトム・ベルに手がけられたスタイリッシュなこの曲は日本でヒットした曲で、あの裏声の魅力、ラッセル・トンプキンスに挑戦します。

THE GIRL FROM IPANEMA (3年)

arr.by 唯 敷 和 彦

皆様もよく御存知のボサノバのスタンダードナンバーです。アントニオカルロスジョビンの曲で、アストラッドジルベルトなどが歌っています。軽快に演奏します。

PLEASE DONT GO (3年)

arr.by 唯 敷 和 彦

スティービーワンダーの最近のアルバム「ファーストフィナーレ」からの曲。ラストミディアムビートの淋しさのみなざる曲で、美しいメロディラインです。

Part of the Plan (4年)

ダン・フォークルバーグのセカンドアルバム「アメリカの思い出」より。あわてず、急がず、しっかりと自分の居場所を一步一步確実に歩んでいけば何事も実るに違いないといった内容の曲です。

箱根馬子唄 (4年)

arr.by 連 淑 娟

“箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川…” 日本民謡を開拓することが毎年の4年生の課題みたいになってきました。中国のお琴(打琴)の美しい音色をお楽しみ下さい。

Crazy Love (1年)

arr.by 漆 畑 明

新しい新しい1年生がリタ・クーリッジの古いデビューアルバムの曲でデビューです。若さあふれる1年生のステージ、今後ともよろしく願います。

— 祝 第10回定期演奏会 —

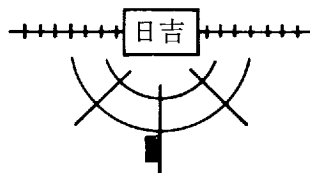


- 貸ホール
- 各種レコード・楽器
- その他

東 横 線 山響楽器
日吉駅前

日吉駅前中央通り

TEL 044 (63) 5511





休みなして**第2部**です。

ここでは、10年の歴史を追うという
意味から、10年間のうちから6曲を
選びだして演奏します。

古きをたずねて…というところ？

Oh Freedom~
Cotton fields

(3・4年)

十年前カレッジフオーク華やかなりし頃に流行したあまりに有名な曲を、趣きの異なるゴスペル調の曲とのメドレーでお送りします。3年4年合同によるシングアウトでKWの原点に立ち返って(?)唄います。

Day tripper
& You can do
that
arr by 井上健一郎

第8回定期演奏会において、KW'71が2部で演奏した曲をKW'74風にアレンジして歌います。KW'74以外には絶対にさせないといわれている、幻の不協和音でもって、ファンキーに(?)仕上げてみました。

Place in the Sun
arr 桑原竜司

長いひとすじの流れのように、木々の小枝のように自由を、そして太陽の当たる場所を求め続けよう。盲目の歌手、スティービーワンダーが歌った最もKW精神にのっとった曲です。

Without You
arr by 高山茂樹

ニルソンで有名なずいぶん前のヒット曲です。簡単な英語で切々と失恋を歌いあげています。KW'70の先輩達が "I can't live..." としてこいぐらいに繰り返していたのを覚えている人もいると思います。

ソーラン節

福山敦夫

KW10年の歩みの中で、この曲を抜かしてKWは語れず……命がけて漁に出る男達と、家を守る妻達、所帯じみてきた4年生が歌います。

ばあちゃんの子守唄
song by 川島孝志

KWの大先輩、川島さんが、おばあちゃんを、なつかしんで作られた曲で、この、騒がしい社会から、ぬけだして、ふと、幼い頃に私達を誘ってくれるような甘いメロディーです。

↓
というわけで**休み**
です。

第 三 部

SING OUT

THIS IS KW ! —過去から 未来に向けて

Fresh Wind (1・2年合同)

arr.by 高 橋 賢 作

オルリズのスードアルバムに収められているウェストコース的ポップな感じのする曲で、寒い冬が終わりさわやかな風の吹く春になると僕達の愛も芽える、そんな新鮮な歌を前途ある(?) 1・2年で楽しく歌ってみます。

Witchy Woman (2年)

arr.by 高橋 賢作・高山 茂樹

今人気絶頂のイーグルスの1枚目のLPに入っている曲です。Wichy Woman、それは魔女のことです。甘い愛の歌とは違った無気味な感じが弱冠2年の私たちにどこまで出せますか。

OL' 55 (2年)

arr.by 安 藤 覚

Tom・Waitsのシングルカットされた曲で、Eaglesによっても演奏されていますが、KWとしては、作曲家Tomの雰囲気を取り入れてTryして見ます。そして、そう1955年は私達の生まれた年なのです。

追憶のテーマ (4年)

arr.by 井 本 厚

抒情的な映画「追憶」のテーマです。唄があり恋があったこの4年間、想い出を胸に明日に向かって進んで行きます。ソロは我KW'72のパーブラー杉山真知子です。

Follow the Drinkin' Gourd (4年)

arr.by 福 山 敦 夫

KW'72最後の定演。そのラストはこの曲となりました。アメリカ南北戦争の頃、奴隷が自由を求め、北斗七星(ドリンクンガード)を目じるしにカナダへ向ったのでした。

People (2・3年)

arr.by 漆 畑 明

Graham Central Stationの曲でソウルというより、ロックっぽくやっております。我々のクラブでは珍しいギンギンギラギラの夕日なのであります。

GUITAR その他の楽器のことなら
なんでも

カワセ楽器

ORIGINAL FOLK GUITAR
HAND MADE STRINGS

千代田区神田小川町2-4
TEL 03 (291) 2723~4

Ive got a Name (3年)

arr. by KW '73

すでに私たちのテーマソングにもなりつつある、今は亡きジムクロウチの曲です。「私たちには歌がある、夢があるんだ」そんな曲です。

旅立つ朝に (3年)

song by 蓑 島 毅

我々にとって2曲めのオリジナルで、前作と同じドラムスの JYO さんの曲です。イモといわれながらも(?)くじけずに曲を出す姿勢をかってやって下さい。今回は前作と異なり、ギンギンのロック風に迫って見ました。

Nothing Rhymed (3年)

arr. by 唯 敷 和 彦

我々の最も苦手な6ビートの曲です。通称“恐怖のメロディ”発音には自信を持っているという(?)ボイスの連中の見事な早口に注目して下さい。G・オサリヴァンのデビュー・アルバムの中で詩が最も美しい作品です。

Mother Contry (3・4年)

arr. by 漆 畑 明

ボニー・コロックという、とても素朴でやさしい感じの女性の曲です。自分の住んでいる、この土地をみつめなおして。このすばらしき土地を!

WE'VE GOT TIME

arr. by 唯 敷 和 彦

メリサ・マンチェスターの最近のアルバム「麗しのメリサ」の中の日本題「幸せの予感」という曲です。女性のコーラス中心に、アレンジしてみました。後半の盛り上がりには御期待下さい。

LET IT BE ME

arr. by 漆畑 明・唯敷 和彦

ポインター・シスターズその他で唄われているかなりポピュラーな曲に我がKW全員も挑戦します。壮麗な感じを、じっくりと……。

26 まだ見ぬ子供たちへ

song by 蓑 島 毅・漆畑 明

様々の思いを胸にしながら、とうとう最後に至りました。KWの初代の人達がKWの生みの親であるならば、僕たちはKWの子供達ということになるでしょう。そんな僕たちが未来のKWのメンバー達に向かって精一杯唄います。十年後二十年後の子供達のために。

花卉・種苗専門商社

⊕ 中村農園

取締役 中村利道

高知市長浜5381-2 (TEL 0888-41-2903)

